

コミュニケーションロボット名： スマイビ

企業名： 株式会社 東郷製作所

I. 実生活での活用法

項目と具体的内容・留意点	コミュニケーション		① 具体的方法：赤ちゃんロボットの為触れ合うことで癒しを得る。 ② 伝える情報：赤ちゃん語（喃語）と顔の表現による喜怒哀楽。 抱っこした時の抱き心地。 ③ 相手：主に高齢者（認知症状の方など） ④ 目的：癒し効果による抑うつ防止、認知症状改善／予防 介護者への負担軽減	
	外コミュニケーション	被介護者	なし	
		介護者	なし	
使用する環境 （場所、時、物、人等）			特定なし	
おこりうるマイナスと対処法	被介護者	疾患	なし	
		心身機能	なし	
		活動	なし	
		参加	なし	
	介護者	疾患	なし	
		心身機能	なし	
		活動	なし	
		参加	なし	
適応と禁忌	被介護者	適応	疾患	気持ちの落ち込んだ高齢者、認知症の方
			心身機能	なし
			活動	なし
			参加	なし
	禁忌		ペースメーカーを装着の方。（抱っこして楽しむ為、電磁波の影響が懸念される）	

	介 護 者	適 応	疾患	なし
			心身機能	なし
			活動	なし
			参加	なし
		禁忌		ペースメーカーを装着の方。（抱っこして楽しむ為、電磁波の影響が懸念される

Ⅱ．機械としての要件定義

Ⅱ－１．有用性

主機能 （コミュニケーションとして用いる手段）	1. ロボットからの出力	1. 音響的：スピーカーから赤ちゃん語を発する。 2. 光学的：頬がＬＥＤにより赤又は青色に点灯する。 3. 動作・表情：目、口、首が動き、又、頬のＬＥＤ点灯により表情の演出を行なう。
	2. ロボットへの入力	1. 音響的：マイクからの音声。 2. 光学的：なし 3. 力学的：加速度センサー（姿勢／揺れ）

Ⅱ－２．機械としての安全性

情報セキュリティ・プライバシー	・ 情報等登録機能はなく、セキュリティー／プライバシー管理の必要性はない。
安全基準への準拠	・ 本体は電気安全法等に該当しない。充電用アダプタについてはＳＥマーク取得品を使用。又、商品の性格上、服を舐めたりした場合の安全として有害物の溶出試験の実施を行なっている。 又、可能な限りＳＴ規格を参考に設定を行なった。

Ⅱ－３．機器の構造・機構

の 機 構 器	外観と重量	・ サイズ：H440mm×W200mm×D190mm ・ 重量：約 1.2K g
電 気 系	操作・操縦方法の概要	・ 操作はしない（本品を抱っこなどして触れる） ・ 起動方法は胸元のファスナーを開け、バッテリースイッチＯＮ後、起動スイッチをＯＮにする。停止は起動スイッチＯＦＦ。 ・ 充電方法も胸元のファスナーを開け、コードを取り出し付属のアダプタに接続を行なう。

Ⅳ．費用、メンテナンス費用・体制

費用	・ 価格：６万８０００円（税抜き） （オプションなし）
供給体制	・ 納期：入金後、２週間以内（受注多数の場合調整要） ・ 供給可能台数：最大３００体「在庫品終了後、改良品の提供となるが機能は殆ど同じ。価格は別途相談（現行より高価）とする」

		生産体制：受注生産により約 8 台／日
メンテナンス	費用	・ 商品提供後、半年は保証期間。初期の設定費用等はなし。 - 保証期間後は故障部位等により費用は要相談。 ・ カスタマイズに関しては、内容により費用は要相談。
	体制	・ 故障、修理の場合基本は商品を返却して頂く。 - 出張の場合は要相談。（出張費等請求もあり）